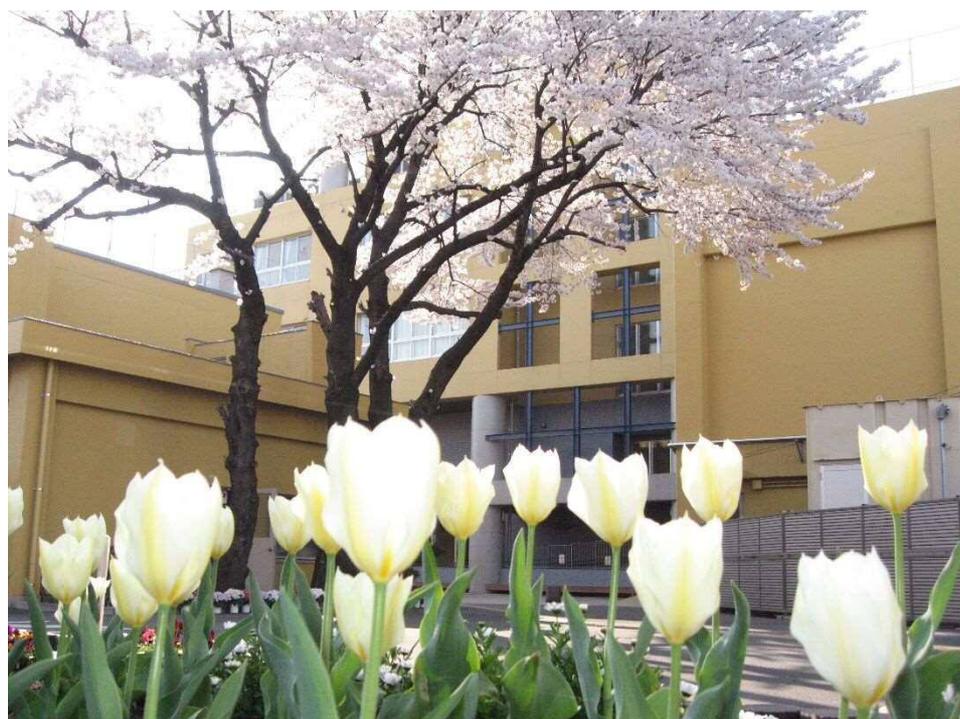


**令和3年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和3年12月
海老名市立東柏ヶ谷小学校**

令和3年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語, 算数・数学)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査 (例)調査教科への興味・関心、読書時間、勉強時間の状況、ICT機器の使用状況、生活習慣 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

令和3年5月27日(木)



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。
- ・資料を用いた目的を理解することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じ、資料を使って話すことができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかどうかをみる。
- ・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができるかどうかをみる。
- ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。
- ・自分の主張が伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。
- ・文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- スピーチにおいて、自分の考えがよりよく伝わるように資料を用いた理由の説明として、適切な答えを選択すること。
- 文章の中で使われている「より」の使い方を理解し、同じ使い方をしている文を選ぶこと。

◆課題のある点

- 資料を読み、目的を意識し、中心となる語や文を見つけ、条件に合わせて要約すること。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 要約する力を身につけるために、目的に応じて文章全体から必要な情報（内容の中心となる語や文）を捉え、内容を端的に説明する言語活動を設定していきます。
- 短文を作る練習をしたり、教科書や辞書を使って調べたりする活動を増やしていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題場面から、必要な数量を選択し、事柄や関係を数学的に表現・処理することができるかどうかをみる。
- ・伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方や表し方について理解しているかどうかをみる。
- ・日常生活に必要な時刻を求めることができるかどうかをみる。
- ・基本図形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる。
- ・量の基本的な性質について理解しているかどうかをみる。
- ・図形の計量について、図形を構成する要素などに着目して捉え、筋道を立てて記述できるかどうかをみる。
- ・棒グラフから、データの特徴や傾向を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・データを二つの観点から分類整理し、表に表したり読み取ったりすることができるかどうかをみる。
- ・帯グラフから、複数のデータについての項目の割合を比較し、データの特徴を捉え、表現することができるかどうかをみる。
- ・設定した問題に対して集めるべきデータを判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の意味について理解しているかどうかをみる。
- ・小数を用いた倍の意味について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して理解し、考え表現することができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答え方を記述すること。
- 余りのある除法の商と余りをもとに、日常生活の場面に即して判断すること。

◆課題のある点

- 商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の計算で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすること。
- 速さを求める除法の式と商の意味を理解すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 問題場面をイメージできるように、テープ図や線分図、円グラフなどで表す練習を積極的に取り入れていきます。
- 朝自習や家庭学習の一つとして、文章問題から立式したり、式から問題場面を考えたりする活動を取り入れ、正しく計算できるよう取り組んでいきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 自分の考えが伝わるように資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している児童が全国平均を上回っています。
- 外国語の授業で、英語で自分自身の考えや気持ちを伝えあっている児童が全国平均を上回っています。外国語の学習に対して意欲的に取り組んでいることがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 家で自分で計画を立てて学習することを苦手と感じている児童が多いことがわかります。
- 学んだことをいかして、自分の考えをまとめたり、新しいものを作り出したりして活用することを苦手と感じている児童が多いことがわかります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「将来の夢や目標を持っている」の回答率が高く、多くの児童が将来の夢や目標への意識が高いことを伺うことができます。
- 「いじめはどんな理由があってもいけない」という質問に対して、全ての児童が「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答しており、いじめは絶対に許されないことだという意識が育っていることがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 自分によいところがあると答える児童が少なく、自己肯定感をもっている児童の割合が全国平均を下回っています。
- 人が困っているときに進んで助けたり、自分と違う意見を受け入れたりすることに消極的な児童が多くいました。

今後の具体的な取組について

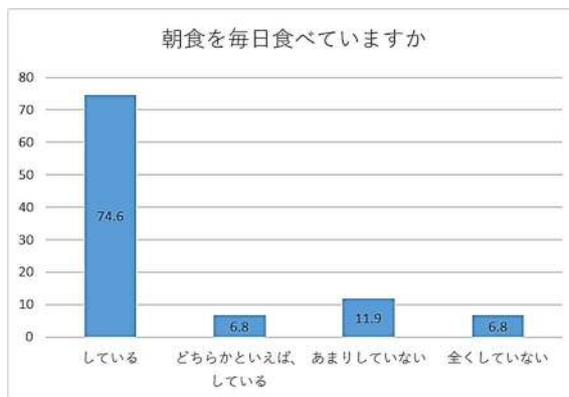
- 児童一人ひとりのよさが発揮できるような教育活動の展開や自己肯定感を高めていくような言葉かけを大切にしていきます。
- 本校の特色である地域との連携を大切に、人とのかかわりの大切さや楽しさを味わうことができるような教育活動を展開していきます。
- 総合的な学習の時間で、他教科で学んだことを活用しながら展開していくような教育課程の編成に努めます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

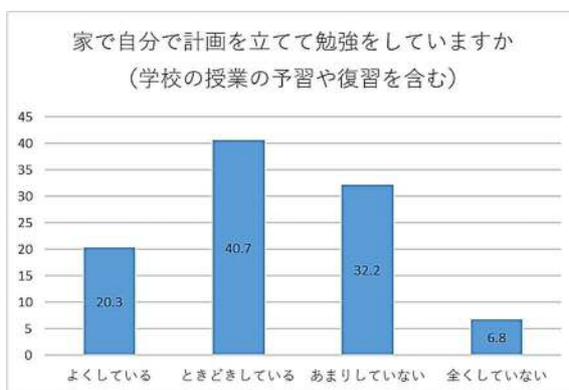
1 1日3食規則正しい食事をとりましょう。

毎日決まった時間に食事をとりましょう。生活のリズムも整い、学習に集中することができます。



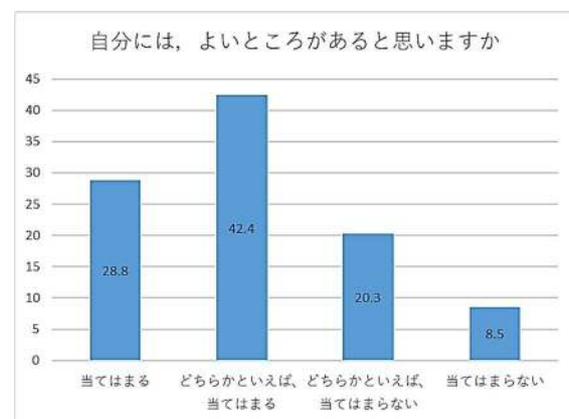
2 家庭での学習習慣をつけましょう。

学習時間の目安は、10分×学年です。子どもたちに学習の習慣が身につくように見守ってください。



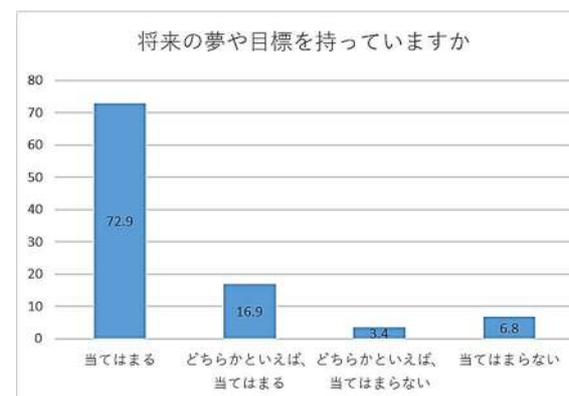
3 できるようになったことや、がんばっていることを、ほめましょう。

できるようになったことやがんばっていることを認めることで、自己肯定感が高まり、自信をもって行動できるようになります。



4 よいところや得意なことを認め、伸ばしていきましょう。

自分のよさがわかったり、自信をもったりすることで、様々なことが飛躍的に伸びていきます。



資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【主体的・対話的で深い学び】

- ・学習した内容を見直し、次の学習につなげている
- ・自分の考えが伝わるように工夫して発表している
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる

【学級活動、道徳】

- ・学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決している
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりしている

【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日摂る
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る
- ・コンピュータやスマートフォン等でゲームをする時間が短い

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で学習計画を立てて学習をする
- ・家に本が多くある

【自尊感情・規範意識】

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・自分でやると決めたことはやり遂げる

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

